

ジャズファーマシューティカルズと日本臓器製薬 同社のカンナビノイド医薬品の日本における提供に関する契約を締結

東京、2026年4月21日 — ジャズファーマシューティカルズと日本臓器製薬株式会社（以下、「日本臓器製薬」）は、ジャズファーマシューティカルズのカンナビノイド医薬品について、日本の患者さんへの将来的な提供を目指した契約を締結したことをお知らせいたします。

本契約に基づき、日本臓器製薬は、日本における当該カンナビノイド医薬品（日本では未承認）の規制当局対応および承認申請、輸入、製造、流通販売を、麻薬及び向精神薬取締法および関連する法令・ガイダンスに則り推進します。一方、ジャズファーマシューティカルズは、日本においてレノックス・ガストー症候群（LGS）、ドラベ症候群（DS）または結節性硬化症（TSC）に伴う発作に対する補助療法としての本医薬品の安全性および有効性を評価する進行中の第 III 相臨床試験について、引き続き責任を有します。

近年、ジャズファーマシューティカルズは、日本において高いアンメット・メディカル・ニーズを有する適切な患者さんに本医薬品を届けるため、関係当局およびステークホルダーと緊密に連携して取り組んでまいりました。本契約は、現在進行中の臨床試験の完了および将来的な承認の可能性を見据えた取り組みです。

日本臓器製薬は、1939年に日本で創業された大阪に本社を置く非上場の製薬企業です。同社は整形外科および中枢神経系（CNS）領域、特に疼痛管理において専門性を有し、医療用医薬品および一般用医薬品の開発、製造、販売を行っています。麻薬製剤に関する確かな知見と患者さんへのコミットメントは、ジャズファーマシューティカルズの理念および価値観と一致しています。

ジャズファーマシューティカルズジャパン株式会社 代表取締役社長の篠原久治は次のように述べています。

「本契約により、経験豊富で信頼できる日本企業と連携し、この重要な医薬品を日本の患者さんにお届けするために取り組めることを大変嬉しく思います。日本において高いアンメット・メディカル・ニーズを有する適切な患者さんに本医薬品を届けるためにご支援いただいている、アカデミア、医師、関係当局、患者団体、そして当社従業員の皆様に深く感謝申し上げます。」

日本臓器製薬株式会社 代表取締役社長の小西崇文は次のように述べています。

「世界的にアンメット・メディカル・ニーズの高い領域への取り組みを進めるジャズファーマシューティカルズと協業できることを大変光栄に思います。また、本医薬品の開発および日本への導入に向けて尽力されているすべての関係者の皆様に深い敬意を表します。本医薬品は、有効な治療選択肢が限られている患者さんに新たな可能性をもたらすものと認識しています。日本の医療制度および規制環境のもとで、本医薬品の適切な提供を担い、患者さんの疾患負担という現実に向き合うことができれば、当社にとって大きな意義となります。関係者の皆様と緊密に連携し、本医薬品が患者さんにとって新たな治療選択肢となるよう、一つひとつ確実に進めてまいります。」

ジャズファーマシューティカルズのカンナビノイド医薬品は、高度に精製されたカンナビジオール（CBD）を含有する経口液剤です。本医薬品は、植物由来のカンナビノイド医薬品として初めて、2018年に米国食品医薬品局（FDA）、2019年に欧州医薬品庁（EMA）により承認されました。日本国外では「Epidiolex」および「Epidyolex」の製品名で販売されています。なお、本医薬品は日本では未承認です。

以上

■ ジャズファーマシューティカルズジャパン株式会社について

Jazz Pharmaceuticals Japan 株式会社は、グローバルなバイオ医薬品企業である Jazz Pharmaceuticals plc の日本法人です。Jazz は、患者さんとそのご家族の人生を変革するイノベーションの創出を目的としています。当社は、希少疾患領域において、治療選択肢が限られている、あるいは存在しない患者さんのために、人生を大きく変える医薬品の開発に取り組んでいます。当社は、てんかん、がん、睡眠障害などに対応する先進的な治療薬を含む、多様な医薬品ポートフォリオを有しています。患者さん中心かつ科学主導のアプローチのもと、革新的な治療薬の強固なパイプライン全体において、先駆的な研究開発の進展を推進しています。Jazz はアイルランドのダブリンに本社を置き、研究開発拠点および製造施設を有するとともに、複数の国と地域において従業員が世界中の患者さんに貢献するために取り組んでいます。

詳細については、<https://www.jazzpharmaceuticals.jp> をご覧ください。

■ 日本臓器について

日本臓器製薬株式会社は、1939 年の創業以来、医療従事者の期待と信頼に応えることを目指し、整形外科などの専門領域において、創薬研究から開発、製造、販売に至るまで、医薬品に関わる一貫した活動に取り組んできました。これまでに培ってきた知見と経験を基盤に、整形外科、痛みを中心とする神経科学、希少疾患などの分野において、さまざまな領域の先駆者と連携し、革新的な治療法の創出に取り組んでいます。さらに、これらの治療法が日本の医療制度のもとで適切に実装され、継続的に機能するよう取り組むことで、医療へのさらなる貢献を目指しています。「次世代に続く医療ソリューションを創出し、世界の人々の健康に貢献する」というミッションのもと、サイエンスを基盤として、より良い医療と社会の実現に向けた新たな挑戦を続けています。

詳細は <https://www.nippon-zoki.co.jp> をご覧ください。

<本件に関するお問合せ先>

ジャズファーマシューティカルズジャパン株式会社、および日本臓器製薬株式会社 広報代理

Edelman Japan 株式会社

JazzJapan@edelman.com